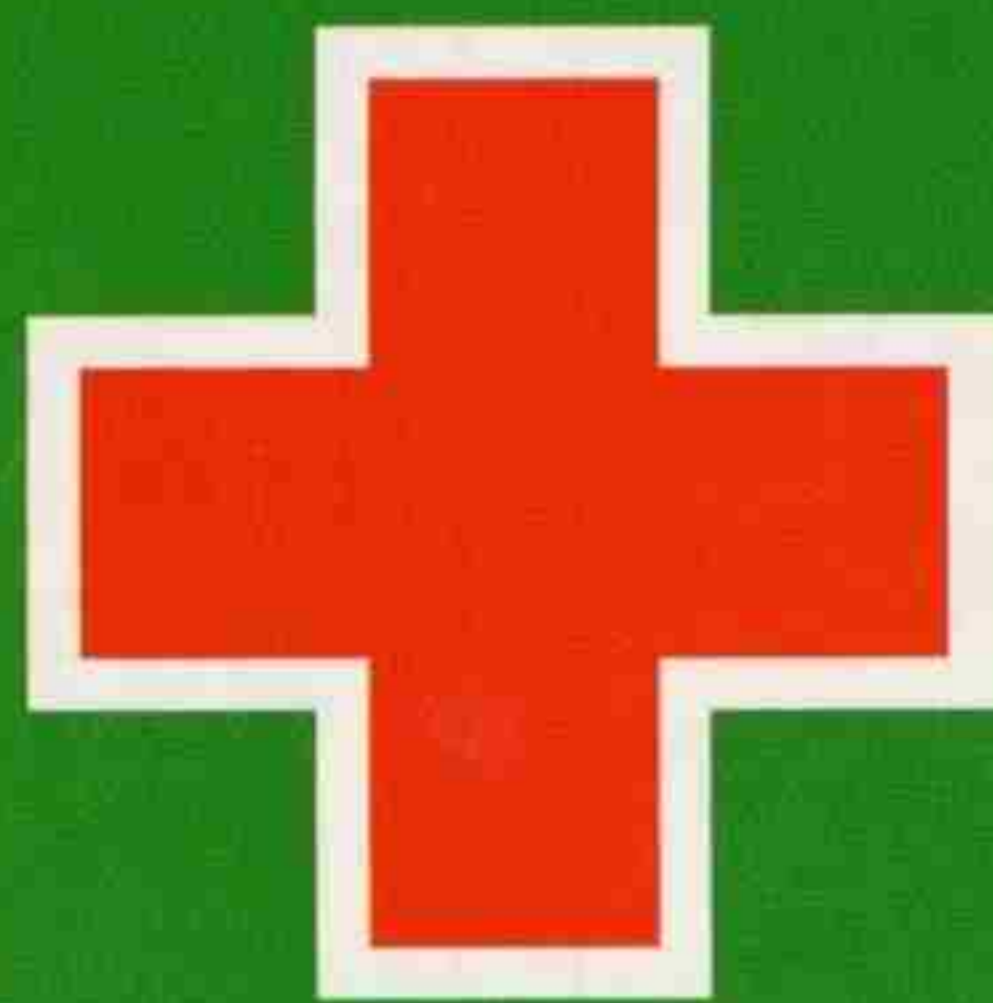


Eye



むさしの

No.1
2000.8

発行 武蔵野赤十字病院 〒180-8610 武蔵野市境南町1-26-1 0422-32-3111

ごあいさつ

武蔵野赤十字病院院長 堺 隆弘

この度武蔵野赤十字病院では患者さんのための情報誌“Eyeむさしの”を発行することにいたしました。当院でどのような医療を行っているか、患者さんとのつながりを密にするためにどのような試みをしているか、家庭医とのつながりをどうするかあるいは不安、不満、困ったときの相談など多くの面から情報を提供しようとするものです。

武蔵野赤十字病院は地域の中核病院として医療の質を高めるよう努力しております。新しい医療を提供するだけでなく、患者さんの不満を解消することも医療の質を高めるためのものと考えています。例えば医療の説明を十分に、必要な場合、口頭での説明ではなく書かれたもので説明する。あるいは診療録、検査データなどをお示しすることなど多くの問題があります。しかしながら待ち時間を短くする、暖かい対応をすることなど努力をしておりますが、まだまだご不満の声をお聞きしております。職員一同患者さんのご意見に十分耳を傾け、改善するよう努めております。

病院の外来診療は年毎に厳しくなっています。2年前の改正では地域医療の中心となる病院の外来では主として救急と紹介状をもってこられた患者さんを診るようという方向付けがなさ

れ、今年の4月には外来患者を減らすように、とくに再来患者をかかりつけ医に逆紹介するようという趣旨の改正がなされています。しかし

ながら、当院では紹介状をもたずに来院された患者さんもお断りすることなく診ておりますし、再来も患者さんのご希望に添った形でお近くに紹介するか、引き続きここで経過をみるかをご相談しております。

昨年末施行された東京都病院協会の代表10病



武蔵野赤十字病院の基本理念

1. ご病気の方の心がやすらぐ暖かい癒しの環境を心がけます。
2. 質の高い、温もりのある医療を提供します。
3. 地域との連携を大切にします。
4. 高度救急医療を行います。
5. 国内外の災害救護・医療活動に貢献します。
6. 医療従事者の教育・研修を推進し、研鑽につとめます。
7. 健全経営を維持し、働きがいのある病院をめざします。

私たちは《愛の病院》をめざします。

患者のみなさまへ

私たちは、いつもあなたの権利を尊重して、と一緒に最善の医療を求めます。

私たちは、

あなたの尊厳を守ります。

あなたのプライバシーを守ります。

診療に関する情報について、わかりやすい言葉で十分にご説明します。

あなたのご希望を尊重します。

あなたのお選びになった検査や治療方針について、力を合わせてお手伝いします。

あなたの笑顔が、私たちの願いです。

院の共通患者アンケート調査の結果からほぼ1位の評価を頂きましたし、また本年2月に行われました日本医療機能評価機構の審査でも高い評価を頂きました。詳細は改めてお知らせいたし

ます。これらの結果におごることなく、ますます病院のレベル向上につとめたいと思っておりますので皆様方のご支援、御協力をよろしく御願いたします。

紹介状があると良い理由

当院では、初めて受診される方、久しぶり新たな症状で受診される方には、できるだけお近くの先生からの紹介状をお持ちいただくようお願いいたしています。紹介状（診療情報提供書と言います）をお持ちいただくことが、なぜ良いのでしょうか。

医療機関には、それぞれの役割があります。

みなさまのお近くの先生は、みなさまが身体の異常をお感じになったときにまず相談する家庭医（「かかりつけ医」という役割を主に持っておられます（在宅治療などをなさる先生もおられますが、同じ考えに基づいています）。お近くの先生のほうが、みなさまの生活の様子やご家庭の様子、ふだんの状態をよくご存じなので、それだけ一人一人の方に合った適切な診療・役に立つ助言がいただけますし、ちょっとしたことでも気軽に受診することができるからです。遠くから多くの方が受診される大きな病院は、このようなきめ細かい診療はどちらかと言えば苦手です。

みなさまのふだんの暮らしをご存じの先生だからこそ「これは変だ」、つまり、特別な検査や大きな病院でなければできない治療が必要だと素早く気づかれるものです。その時には、大きな病院は外来や

入院で精密検査を行い、治療方針を立て、あるいは病院でないと出来ない治療を行います。ここでの診療に無駄や不足が生まれないようにするためには、それまでの経過について、先生からの「紹介状」でお教えいただくことがぜひとも必要になるです。

必要な検査や治療が終われば、大きな病院というのは何かと気疲れするものですし、通うのも大変ですから、その後の診療についてはできるだけ早く再び「かかりつけ医」の先生にお願いすることになります（逆紹介）。

このような「かかりつけ医」の先生と病院との協力体制を「病診連携」と呼び、武蔵野赤十字病院は武蔵野市医師会のみならず三鷹、小金井をはじめ多摩地域の医師会の先生方との間でこれまで良好な病診連携の実績を重ねて参りました。これからは、「紹介状」を仲立ちにして、地域の先生方と私たちの病院とみなさまご自身とが手を取り合って、最善の医療を求めていく時代です。

このような考えから、私たちはご来院の際になるべく「紹介状」をお持ち下さるようお願いしております。ただし、救急で受診なさる場合には、もちろん直接お出でいただいて結構です。

「夏バテを防ぐには」

神経内科 高橋真冬

夏バテの主な原因としては「大量の発汗による脱水やミネラル・ビタミン不足」「クーラーの効いた場所と外の暑さとの繰り返し等による体温の調整不良」「食欲減退による栄養の不足」「熱帯夜や夜更かし等による睡眠不足」などが考えられます。

蒸し暑い夏、熱帯夜で寝苦しくてなかなか寝付かれないものですが、「酒喰らって寝てしまおう」ではかえってアルコールの利尿作用で脱水を招きかねません。むしろ除湿・汗対策が大切。少しぬる目(40度くらい)のお風呂にゆっくりつかる、シャワーを浴びて汗をとる、寝る前に寝室を除湿・冷却する、火を通した水分を摂取する、足を冷やさないなどが良いようです。冷房による体が冷えすぎは、足腰の血流低下から不眠の原因となり要注意です。

のどごしが良いために、暑さ対策で水分を大量に摂取してしまいがちですが、それにより、尿量も増加し、徐々に体内の塩分も減少し、体液も保持できなくなってしまいます。昔「水を飲まなくても塩をなめろ」といわれたように、夏場は適度な塩分をとって、循環血液量を保つことが大切です。その為スープやみそ汁等をとることをおすすめしています。

汗をかくことが多い夏場は、ビタミンやミネラルの消耗が激しく、積極的に水分補給をしなければなりません。炭酸飲料水やジュースなどで糖分や冷たい飲み物を取りすぎない事が大切です。食欲がなくても、きちんと食べる事が肝要です。夏野菜(緑黄色野菜)・たんぱく質とビタミン類を中心に、吸収の良いものを取り、バランスの良い食事を行うことが大切です。香味野菜や香辛料により食欲を促していくこともよいといわれています。

便秘が不良なまましていると満腹感が常にあり、食欲が低下してきます。食べられないことで水分摂取量も減少し脱水に傾いていきます。

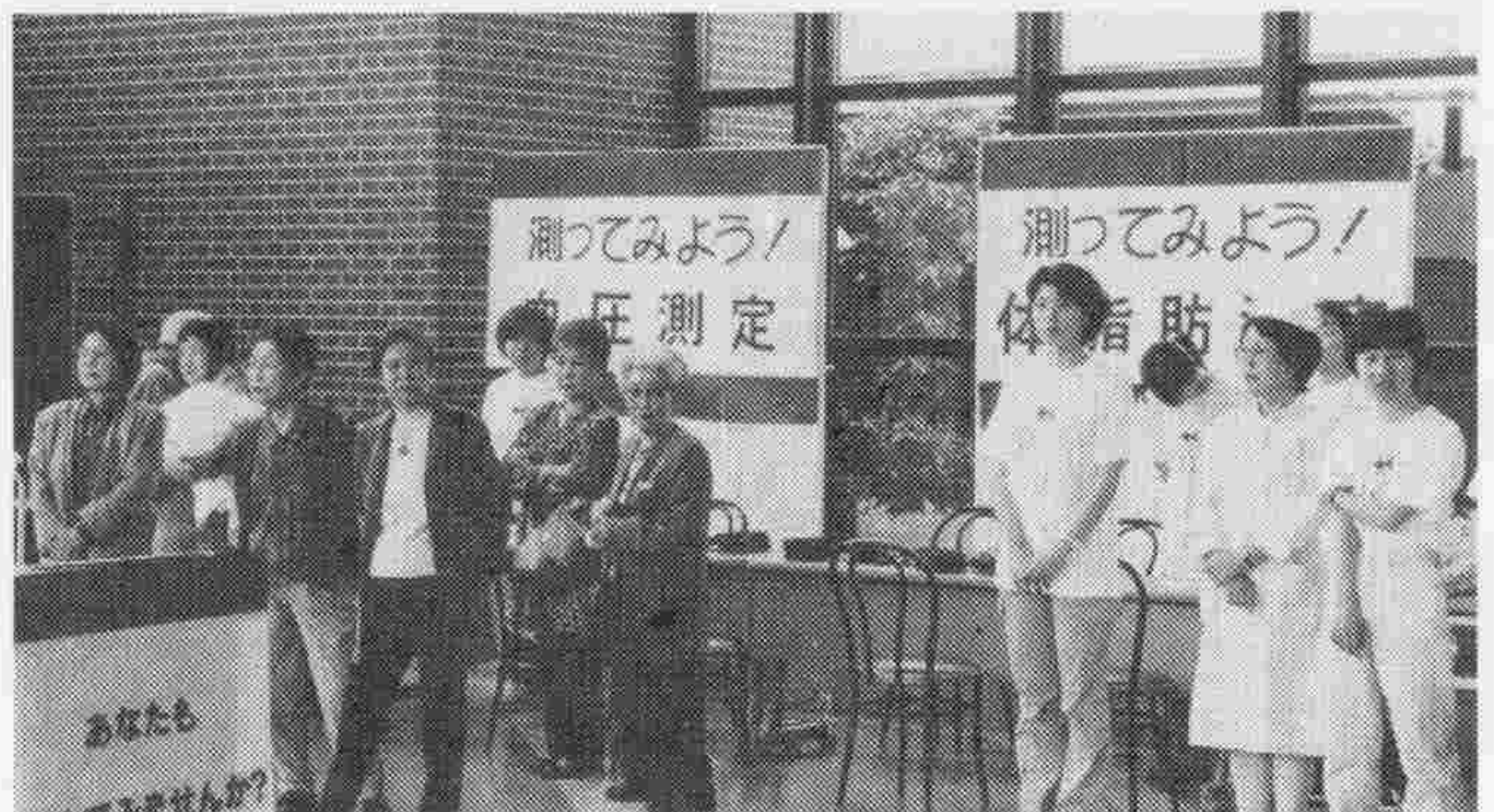
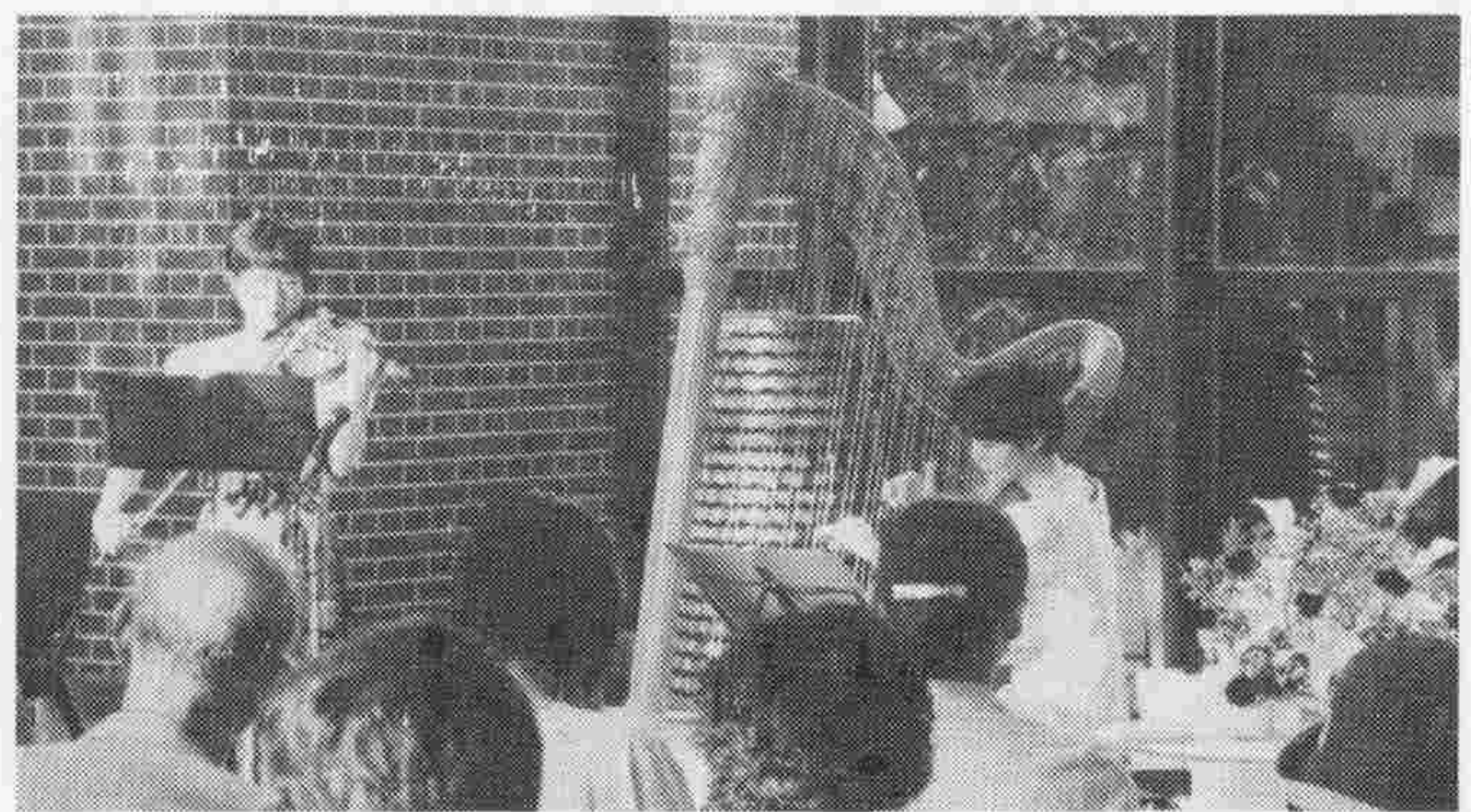
何れにしても適度の運動と休息を心掛け、暴飲暴食を慎み、規則正しい生活と十分な睡眠をはかることが重要です。結局「快食・快眠・快便」ですね。

病院についてのQ&A

Q. どうして、患者を呼ぶときに「〇〇さま」と言うのですか。「〇〇さん」の方が親しみを感じるのですが。

A. 日本では、初対面の人を「さん」と呼ぶことは、相手の人が目下の場合に限られています。そのことは、「さま」の後に続けて話す言葉が「さん」の後に続けて話す言葉よりも丁寧なものとなることでもわかります。「さま」とお呼びすると、自然に自分の心の位置が相手の人より低くなります。医療の中心はご病気の方であるということを、職員一人一人がいつも肝に銘じて接するように、1998年8月から「さま」とお呼びすることにいたしました。もちろん、ご病気の方やご家族とのおつきあいが深まり、「さん」のほうが自然な親しさを伝えるような関係になったために「さん」でお呼びしていることも少なくありません。

職員の態度の至らない所をご指摘いただき、「このような態度なら『様』はやめてしまえ」とお叱りを受けることもあります。が、「様」に見合った接遇を行うようにとのお叱りと受け止め、職員教育をさせていただいております。



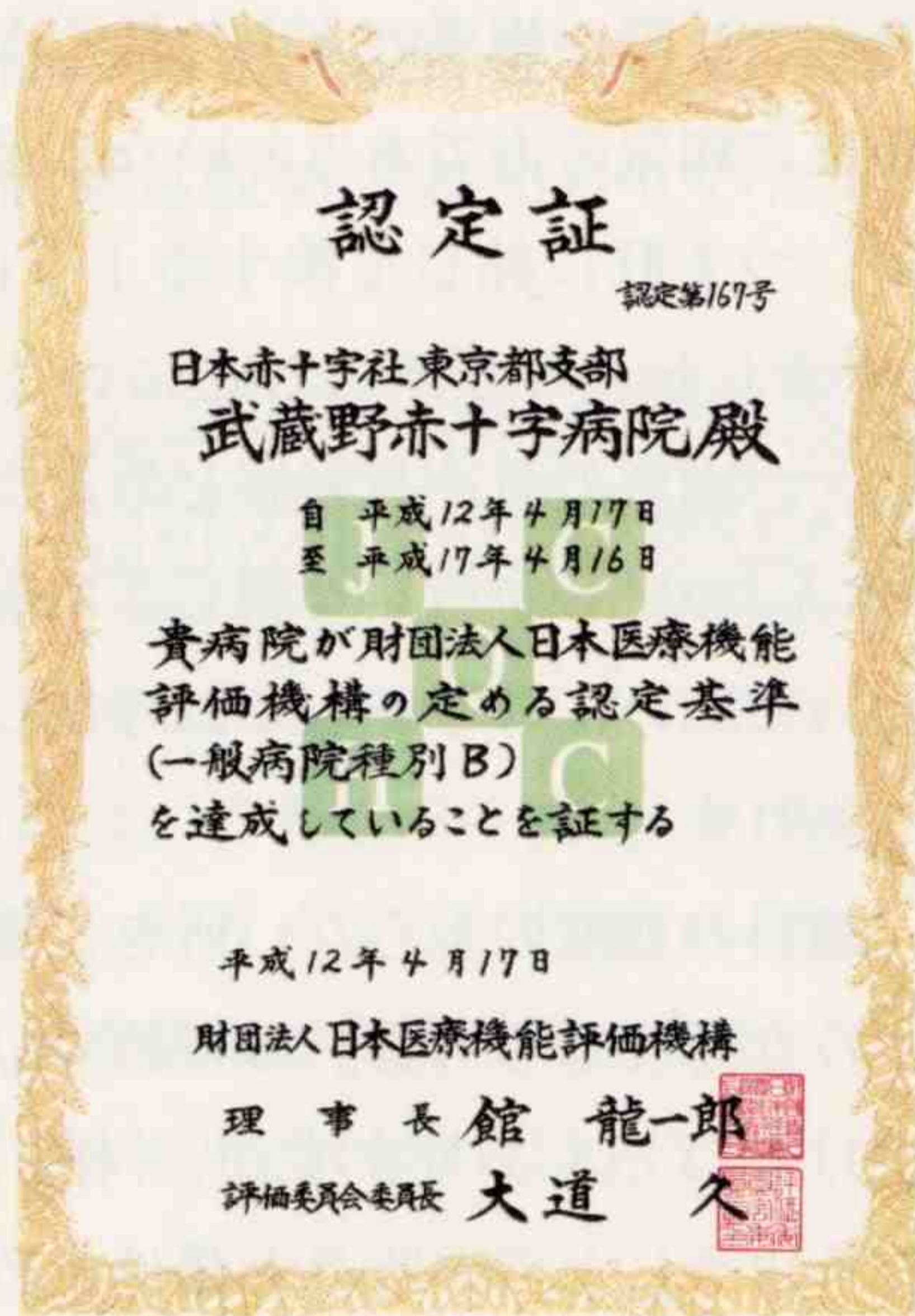
看護週間

Eyeトピックス

医療機能評価機構の認定病院となりました

本年2月、当院は(財)日本医療機能評価機構の病院評価を受審いたしました。その結果、5月に、当院は「一般病院種別B」の認定基準を満たすものとして認定されました。つまり、この病院の医療水準・医療設備・患者サービスなどが、現在の日本で求められる望ましい病院の基準を満たしていると、公的な第三者機関から認められたわけです。「一般病院種別B」とは、病床数200床以上の病院(当院は611床です)に対しての基準で、199床以下の病院は「一般病院種別A」となります。

この名に恥じないように、そして更に高い評価をいただけるように、より良い医療の提供に努めてまいります。



心療内科部長が変わりました



星野恵則の退職に伴い、山崎友子が新しく部長に就任致しました。

(昭和58年、東京女子医科大学卒業)

禁煙外来が始まりました

禁煙は、自己で管理出来る病気予防です。タバコをやめたい、何度かチャレンジしたがうまくやめられないというような方のために、医師・看護婦がお手伝いする禁煙外来を始めました。

2週に1回の通院で、10週間完全予約制です。自費診療となりますので、ご了承下さい。詳しいことは、総合案内におたずね下さい。

ミッキーマウスがやってきました



6月22日、オレンジ4階(小児病棟)に、ミッキーマウスとミニーマウスがお見舞いに来院、子どもたちは大喜びでした。

〈Eyeむさしの〉が誕生しました

患者さま向けの広報紙として本紙が発行されました。

このEyeは、患者さまと私たちが見つめ合う「目」、医療を見つめる「目」であると同時に、この病院の基本理念である「愛」に通じています。